

※ご使用前にこの説明書を良くお読みになり十分に理解してください。



組立/取扱説明書

150mmサイズ 電動インドアヘリシリーズ

MINI INVADER 150 S4

ミニインベーダー 150 S4 レディセット

目次

1.安全のための注意事項	1~4
2.セット内容	4
3.本製品の特徴	5
4.飛行前の準備	5~8
5.H107送信機の各種設定方法	9~13
6.飛行手順	14~20
7.メンテナンス	21
8.トラブルシューティング	22
●分解図	24
●パーツリスト	25
●スペアパーツの購入方法	26

*Specifications are subject to change without prior notice!
※製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。
© Copyright 2013 KYOSHO CORPORATION / 禁無断転載複製

本製品のローターヘッド機構部はヒロボー株式会社様の
特許第4249801号の実施品であり、正式に同社の承認を
得て京商株式会社が輸入および販売しております。
承認番号HIP2013-077KYS



No.20150

1

安全のための注意事項

組立て・飛行の前に必ずお読みください。



警告マーク：生命や身体に重大な被害が発生する可能性がある危険を示します。



禁止マーク：事故や故障の原因となるため、やってはいけないことを示します。



- この商品は高い性能を発揮するように設計されています。組立てに不慣れな方は、模型を良く知っている人にアドバイスを受け確実に組立ててください。
- 小さい部品があるので、組立て作業は幼児の手がとどかない所で必ずおこなってください。
- 動かして楽しむ場所は、万が一の事故を考えて安全を確認してから、責任をもってお楽しみください。
- この商品は14才以上を対象に設計しています。玩具ではありません。
- 小さな部品や、とがった部品がありますので、十分注意してください。また、小さなお子様のいる場所での作業・保管はさけてください。
- 電池は指定の電池を使用し、逆接続・分解は絶対にしないでください。発熱や破損の原因となり大変危険です。
- ケガの恐れがありますのでカッターやニッパー、ドライバーなどの工具の取り扱いには十分注意してください。
- ケガの恐れがありますので回転部分に指や手をはさまないでください。
- 飛行中や飛行後はバッテリーやモーターが発熱することがあります。危険ですので十分に冷えてから触るようにしてください。
- ヘリコプターの動きがおかしい時は、飛行を中止して原因を調べる。
- 風が吹いている所では飛行はしない。
- 飛行させる際は、ゴーグルを着用してください。
- 飛行後や飛行させない時は必ず機体のバッテリーを外して、送信機の電源スイッチをOFFにし乾電池を外してください。誤動作や電池の発熱・液漏れなどの危険があります。
- 充電中は、リチウムポリマーバッテリー、充電器ともに発熱するので燃えやすい物の上での充電は火災等、事故の恐れがありますのでおやめください。
- 飛行させる際は、2m以上離れてください。

対象年齢

14才
以上



不要になったリチウムポリマーバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。

Li-Po



- 安全に配慮して飛行場所を選んでください。下記のような場所では飛行しないでください。
 - 1.子供の遊び場や、RCが禁止されている公園では飛行させないでください。
 - 2.飛行範囲に人、特に子供がいる場所では飛行させないでください。
 - 3.交通量の多い道路、鉄道、飛行場、高圧線、鉄塔などの近くでは飛行させないでください。



- 送信機や受信機、サーボは精密な電子部品です。故障の原因となるので水に濡らさないでください。
- 変形や傷ついたメイン・テールローターは使用しないでください。
- メインローターが回転中の機体には絶対に見物の人を近付けないでください。
- 故障や破損、変型の原因となるため高温・多湿の場所での長期保管はしないでください。
- リチウムポリマーバッテリーは破裂すると非常に危険ですので絶対に火中に投げ入れないでください。
- 純正の充電器以外での充電は、絶対におやめください。
- ショートによる火災事故のおそれがあるのでリチウムポリマーバッテリーの分解、改造は絶対にしないでください。
- 充電中は、充電器のそばを離れないでください。
- 直射日光の下など高温になる場所では、充電しないでください。
- 傷ついたり、変形したバッテリーは絶対に充電しない。火災などの重大な事故の原因になります。
- 送信機は乳幼児の手の届かないところで使用、保管してください。
- 送信機は、落としたり、大きなショックを与えないでください。
- 純正パーツ以外の組み込みや機体の改造はしないでください。故障の原因となります。

H107プロボを安全に使用するための注意

2.4GHzシステム使用上の注意

- H107は2.4GHz帯周波数を使用し、混信防止機能を備えていますが、万が一の事を考えて周囲の安全を確認してください。
- 2.4GHzはR/C以外の機器にも使用されています。電子レンジ、無線LAN、Bluetooth、デジタルコードレス電話、ISMバンドなどに使用されているので都市部ではプロボの動作に影響が出る場合があります。使用する際は周囲の環境に注意し、必ず動作確認を行い安全を確認してから飛行させてください。
- 下記の場所では電波が機器に影響を及ぼすおそれがあるので使用しないでください。
 - 1:航空機内
 - 2:自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
 - 3:病院内や医療用電気機器の近く

- 同一飛行場内では同時に使用する2.4GHzプロポの台数は15台以内にしてください。
- 樹木や壁など遮へい物が有ると操縦不能になる場合があります。必ず目視出来る場所で飛行させてください。
- 日本国内では電波法に基づく工事設計番号を記載した認証ラベルが貼られているプロポのみ使用できますので、送信機のラベルをはがさないでください。
- H107は電波法に基づく工事設計認証試験を受け、本体ケースを封印しています。封印を開けて改造した場合、電波法違反になるので封印を開けないでください。
- H107の電波到達距離は地上で50mで設計されています。その範囲内で飛行してください。
- 気温0～40°の範囲で使用してください。

2.4GHz送信機操作上の注意

- 送信機のアンテナは指向性が高く電波が弱くなる方向があります。アンテナの先端が向いている方向が最も電波が弱くなりますのでアンテナを機体に向けないでください。
- 送信機のアンテナを持ったり金属クリップをつけないでください。

2.4GHz受信機搭載時の注意

- 受信機のアンテナは切断したりハンダ付けで延長しないでください。

2 セット内容

	内容	数量		内容	数量
1	ヘリコプター (バッテリー搭載済み)	1			
2	H107 送信機	1			
3	USB充電ケーブル	1			
4	スペアメインローター	2			
5	スペアテールローター	1			
6	プラスドライバー	1			
7					
8					

3 本製品の特徴

- ▶ 本製品は、安定性の高い固定ピッチ方式シングルローターヘリです。日本国内で一般的なモード1方式の送信機を採用した練習に最適な機体です。操縦に慣れてきたら送信機をエキスパートモードに切替えれば機体をクイックな特性に変更できます。

スペック

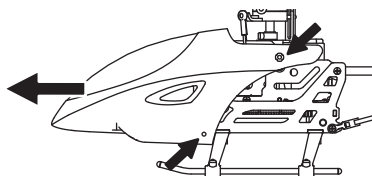
全長	230mm
全高	80mm
重量	約60g
メインローター径	255mm
テールローター径	51mm
バッテリー	3.7V 450mAh
飛行時間	約8分

4 飛行前の準備

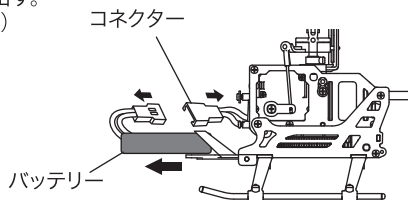
バッテリーの充電 (リチウムポリマー (LiPo) バッテリーの充電方法)

- ▶ この製品は、高性能なりチウムポリマー (LiPo) バッテリーを使用しています。使用する前に説明書を良く読んで正しく充電、使用してください。

1 左右4カ所の突起からボディを外す。

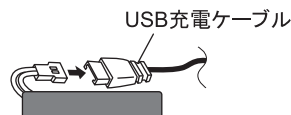


2 コネクターを外してバッテリーを前に引き出す。
(工場出荷時はコネクターは外れています。)



3 USB充電ケーブルをPCのUSBポートなどにつなぐ。

4 USB充電ケーブルのもう一方をバッテリーにつなぐ。



5 USB充電ケーブルに内蔵されたLEDが赤に点灯し充電開始

6 LEDが消灯したら充電完了

7 充電が完了したらUSB充電ケーブルをバッテリーとUSBポートからはずす。



- ▶ 純正以外のケーブル類を使用しないでください。火災など事故のおそれがあります。
- ▶ 充電が終わったらすぐにUSB充電ケーブルをバッテリーとUSBポートから外してください。
- ▶ 充電中に異常を感じたらただちに充電をやめ、LiPoバッテリーを外してください。

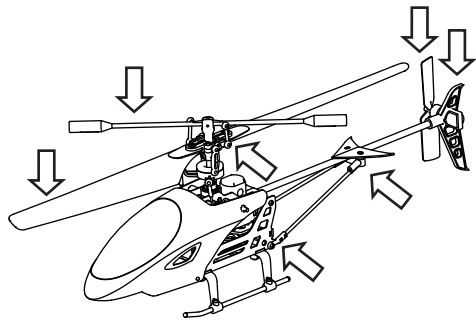
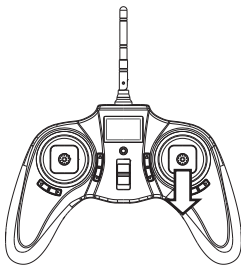


リチウムポリマー (LiPo) バッテリー低電圧時の注意

- ▶ LiPoバッテリーは3.0V以下まで放電すると過放電になり、破損するおそれがあります。出力が弱くなったと感じたら、早めに機体を着陸させてLiPoバッテリーが冷めたら充電してください。
- ▶ 飛行後は、必ずLiPoバッテリーを機体から外してください。
- ▶ バッテリーを長期間使用しないときは、充電してから保管してください。放電したまま長期間保管すると自然放電によって過放電となりLiPoバッテリーが破損してしまうおそれがあります。

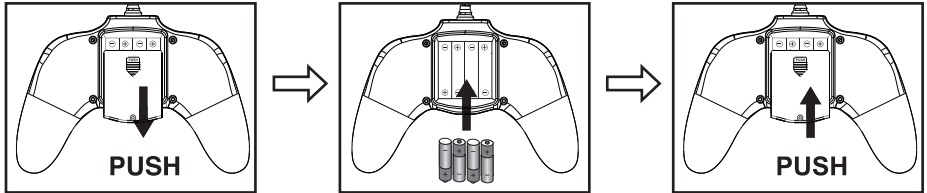
飛行前の確認

- 1 送信機および機体のLiPoバッテリー残量が充分か確認する
- 2 送信機のスイッチを入れる前に、スロットルスティックが一番下になっている事を確認する
- 3 機体各部のビスなどがゆるんでないか、または破損している部品がないか確認する
- 4 可動部分がスムーズに動くか確認する。

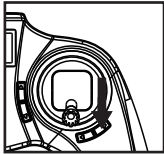


スイッチの入れ方（機体の登録方法）

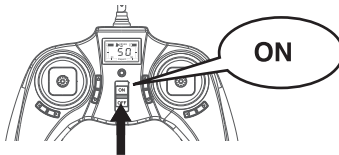
- 1 送信機の背面のフタを外して単4アルカリ乾電池4本を極性を間違えないように入れる。



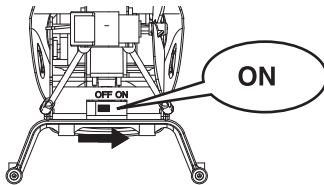
- 2 送信機のスロットルを一番下にする。



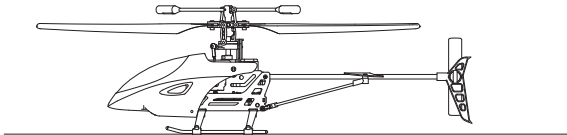
- 3 送信機のスイッチをONにすると送信機のLEDが赤く点滅する。（機体登録待機状態）



- 4 機体のスイッチをONにする。



- 5 3秒以上機体を水平に保つ。（自動でジャイロのセンター出しをします）



- 6 数秒後、送信機からピープ音が鳴りLEDが点滅から点灯に変わる（機体登録が完了）

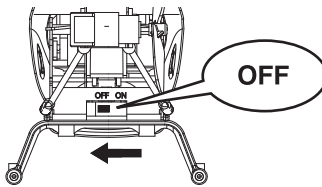
- 7 機体の登録が完了したら飛行準備完了。



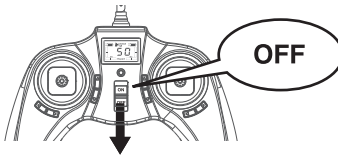
- ▶ スイッチを入れるときは必ず先に送信機のスイッチをONにする。
- ▶ 本製品は、毎回スイッチを入れる時に機体と送信機の登録（バインディング）を行いません。近くで同じ送信機が機体登録待機状態になっているときは、別の送信機に登録される事があるので、その場合は時間をずらしてください。
- ▶ 周囲の電波状況によっては機体登録が出来ない時があります。その場合は時間をずらすか、場所を変えてください。

スイッチの切り方

- 1 機体のスイッチをOFFにする。

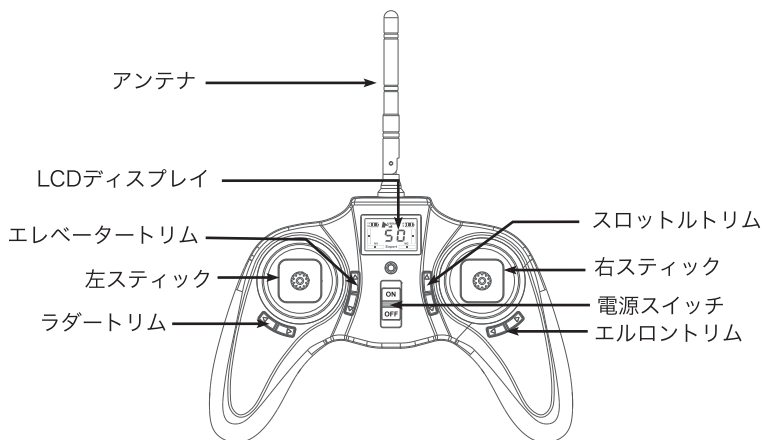


- 2 送信機のスイッチをOFFにする。

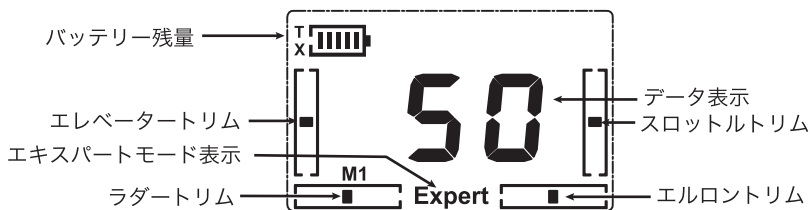


- ▶ スイッチを切るときは必ず先に機体のスイッチをOFFにする。

各部名称



ディスプレイ



エキスパートモード

- ▶ 本機はノーマルモード（練習用）とエキスパートモード（上級向け）の切替ができます。エキスパートモードでは舵の利きが敏感になり操縦がクイックになります。

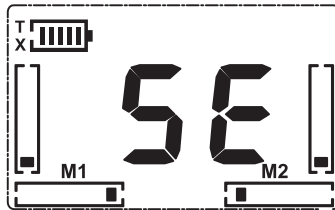
- 1 送信機、機体ともにスイッチをONにして飛行可能状態にする。
- 2 送信機の左スティックを短く1回押し込む。
- 3 LCDに“Expert”が表示されてLEDが点滅しエキスパートモードへ切り替え完了。
- 4 ノーマルモードに戻すときはもう一度送信機の左スティックを短く1回押し込む。

送信機の各種設定

- ▶ 機能： 1 :チャンネルリバーシ機能（ノーマル/エキスパートモード）
2 :サーボ舵角調整機能（ノーマル/エキスパートモード）

▶ 各種設定方法：

- 1 送信機、機体ともにスイッチを入れて送信機のLCDに数字が表示されている状態にする
- 2 機体のスイッチをOFFにする
- 3 送信機の左スティックを1秒以上押し込む
- 4 LCDに“SE”と表示されて設定モードが起動
- 5 設定モード時にスロットルトリムを押すと、ノーマルモードとエキスパートモードのそれぞれの設定画面に切替できます。

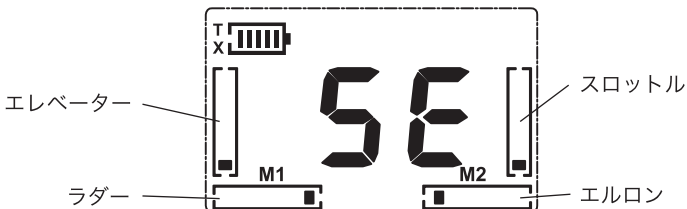


チャンネルリバーシ

▶ 本機は工場で調整済みです。万が一誤って変更してしまった場合は下記手順で設定しなおしてください。

- 1 設定モードで各チャンネルのトリムスイッチを押すと、カーソルが移動してそのチャンネルの動作方向が変わります。本機は、下図の位置にカーソルがあれば正常です。

- ・エルロン→左
- ・エレベーター→下
- ・スロットル→下（このチャンネルは変更できません）
- ・ラダー→右



- 2 スロットルトリムを押すか、右スティックを短く1回押し込むとエキスパートモードのチャンネルリバーシを設定できます。

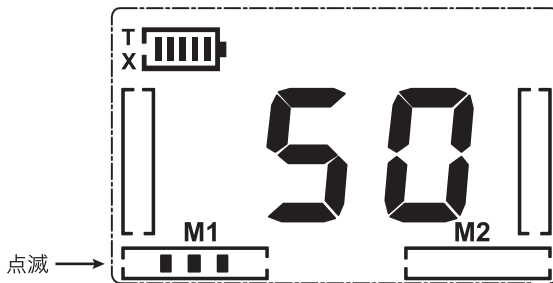
サーボ舵角調整

▶ 本機は工場で調整済みですが、好みに応じて設定を変更してください。

- 1 設定モードで右スティックを短く1回押し込んで舵角調整画面に切り替える。
- 2 左スティックを短く押し込んで、ノーマルモードとエキスパートモードを切替える。
- 3 カーソルが点滅しているチャンネルの舵角量がLCDに表示される。
- 4 表示されているチャンネルのトリムスイッチを押して数字を変更する。
- 5 ノーマルモードは20~80まで調整可能、エキスパートモードは40~100まで調整可能。数字が大きいほどクイックになります。
- 6 右スティックをもう一回短く押し込むと設定するチャンネルが変更される。
- 7 右スティックをもう一回短く押し込むと設定画面に戻る。

▶ 工場出荷時の設定

ノーマルモード：エルロン/50 エレベーター/50 ラダー/80
 エキスパートモード：エルロン/95 レベーター/95 ラダー/90

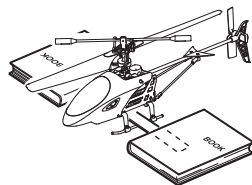


送信機の動作確認

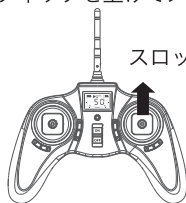
▶ スロットル



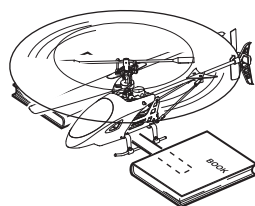
- ▶ 下図のように、機体が浮かないようにスキッドを押さえる。
メインローターが回転しますのでご注意ください。



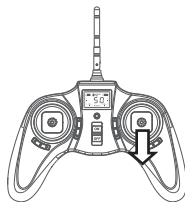
- 1 スロットルスティックを上げてメインローターが回転する事を確認。



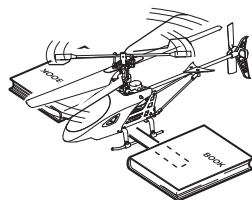
スロットルアップ



- 1 スロットルスティックを一番下にしてメインローターが止まるか確認。

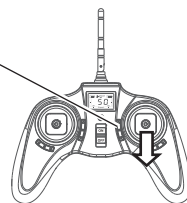


スロットルダウン



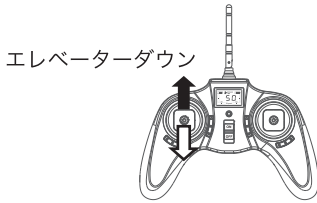
- 1 メインローターの回転が止まらない場合はスロットルトリムで調整する。

スロットルトリム

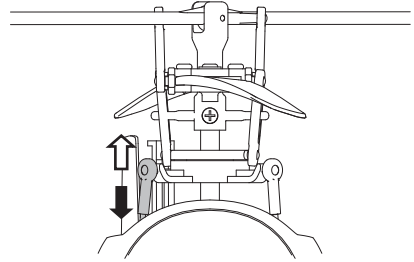


送信機の動作確認

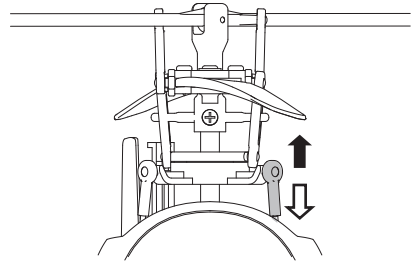
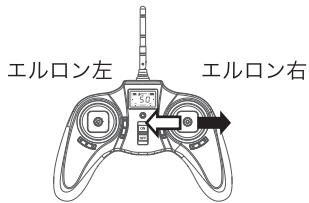
▶ エレベーター



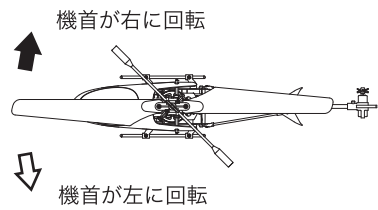
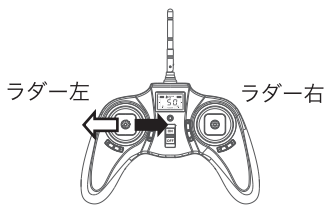
エレベーターアップ



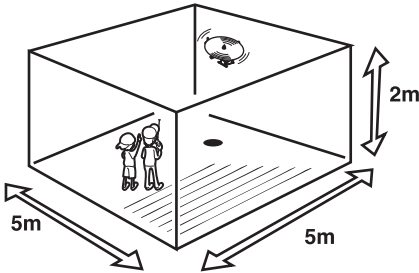
▶ エルロン



▶ ラダー

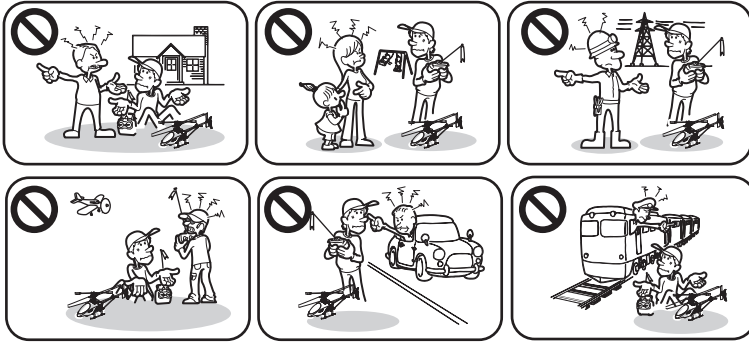


フライト条件



- ▶ 左図のような大きさの体育館等の室内。
(体育館は必ず管理者の許可をとってください。)

- ▶ 飛行場所は慎重に選びましょう。こんな場所での飛行は絶対に禁止です！



本製品は2.4GHz周波数帯を使用し、混信防止機能を備えていますが万が一の事を考えて周囲の安全を確保してください。

人家やビル、子供の遊び場や公園、交通量の多い道路、鉄道、飛行場、高圧線、鉄塔などのそばは飛行禁止。

また飛行範囲に人、特に子供が入ってこないように注意する。

下記のような場所では使用しないでください。

- ・航空機内。
- ・自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近く。
- ・病院内や医用電気機器の近く。

本機からの電波が機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

- ▶ 無風のおだやかな天候の時に飛ばしましょう。

無風の時

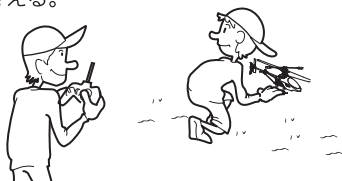


風がある時

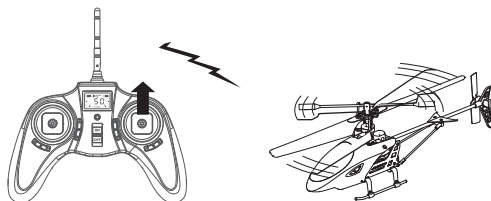


飛行前のチェック

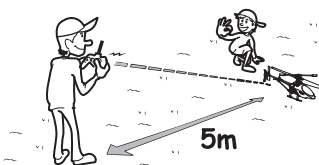
- 1 メインローター、テールローター、ヘッド、フレームに
ねじれ・傷やいたんでいる部品がないかをチェック。
- 2 メインローター、リンクージ等が確実に
取付られているかチェック！
- 3 送信機の電源スイッチをONにし、機体のスイッチをON。
その際、他の人にスイッチを入れる事を伝え
メインローターの周囲に人がいないか注意。
- 4 機体をしっかり押さえる。



- 5 送信機と機体の動作を確認。



- 6 5 mぐらい離れて動作に異常がないことを必ず確認。

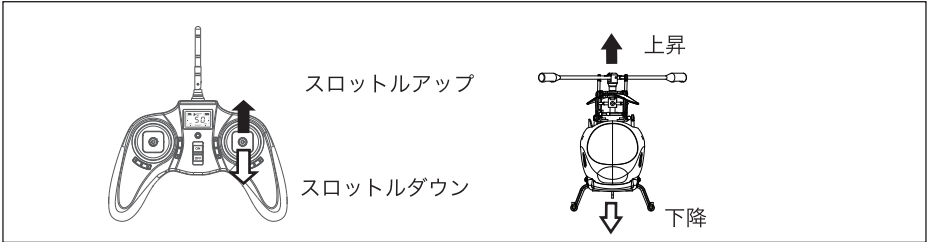


約5m位まで

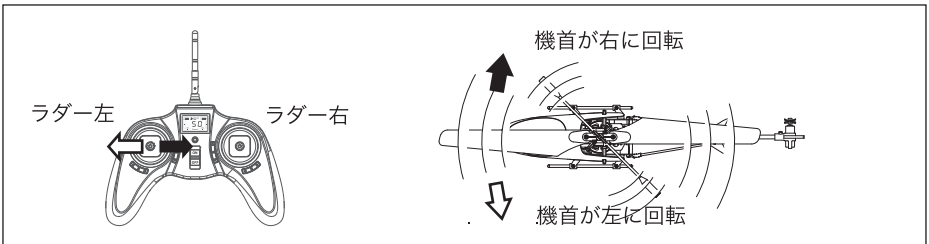
プロポの操作と機体の動き

- ▶ プロポの操作と機体の動きを十分に理解してから飛行してください。
この機体を飛行するには、高度なテクニックが必要です。

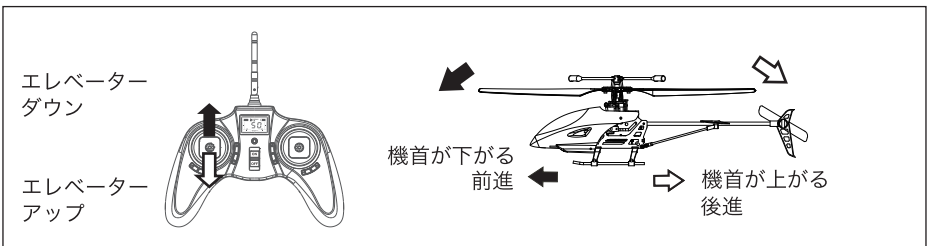
●スロットル



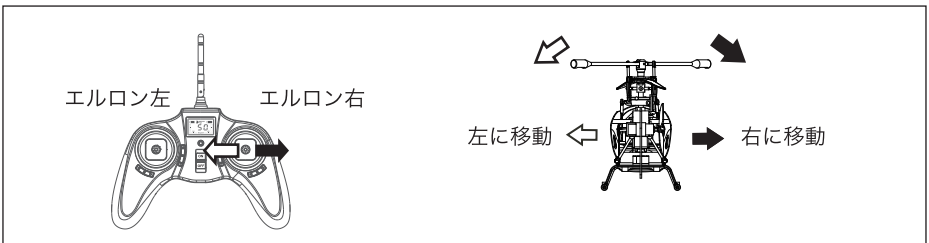
●ラダー



●エレベーター



●エルロン



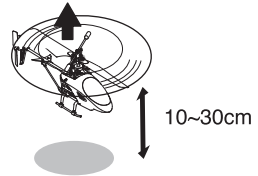
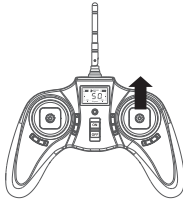
機体を浮上させましょう



風がある場合は、飛行できません。

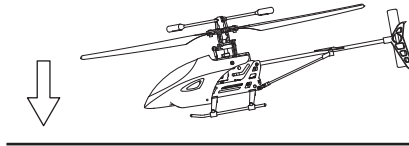
1

スロットルスティックをゆっくり上げていき、機体が10~30cm浮上したらスロットルスティックをゆっくり下げて、着地させましょう。慣れるまでしっかり練習しましょう。



2

機体を着地させるときは機首を下げて着地させましょう。



機体がいろいろな方向に動いてしまう場合は、18ページに従って、トリムの調整を行ってください。飛行環境によっては毎回トリムの調整が必要になる可能性があります。

3

少し長めに空中に停止できるようにスティック操作を覚えましょう。これをホバリングといいます。

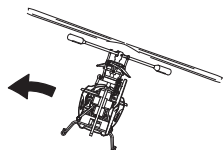


トリムの調整

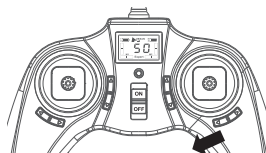
- ▶ 操縦の時、機体がいろいろな方向に動いてしまう場合はトリムの調整を行ってください。

1 エルロントリム

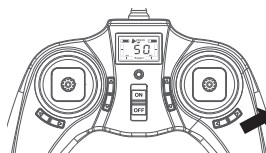
- ▶ スティックを中立に保ち、トリムで調整。



- ▶ 右に傾く時、
左へ調整する。



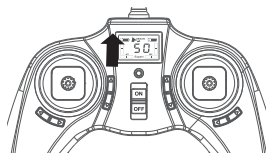
- ▶ 左に傾く時、
右へ調整する。



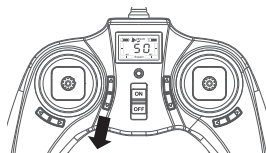
2 エレベータートリム



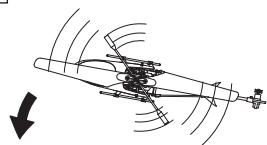
- ▶ 機首が上がる時、
機首を下げる。



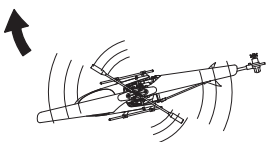
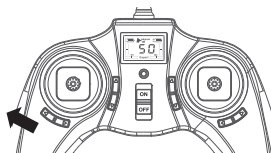
- ▶ 機首が下がる時、
機首を上げる。



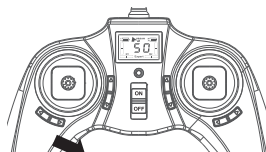
3 ラダートリム



- ▶ 機首が右に向く時、
機首を左に向ける。



- ▶ 機首が左に向く時、
機首を右に向ける。



上手な飛行テクニック

1 ホバリングの練習

- ▶ 最初は機体の真後ろに立って練習します。
慣れてきたら立ち位置を変えてホバリングの練習をしましょう。



2 水平飛行の練習

- ▶ 前後左右、水平に移動できるように練習しましょう。



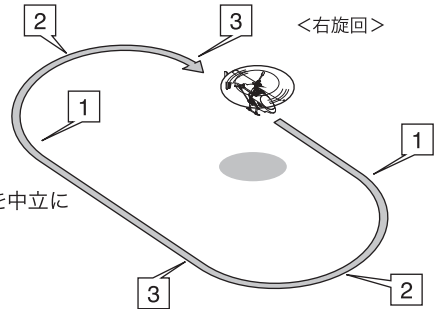
3 旋回

- ▶ 旋回させましょう。速度が早くなりすぎないように注意。

1 機体が前進している時にエルロンスティックを右にして機体を右に傾ける。

2 エレベータースティックをアップにラダースティックを右側。

3 旋回が終わったら、エレベーター、ラダーを中立にエルロンスティックを左にして機体を水平に戻す。



4 8の字飛行

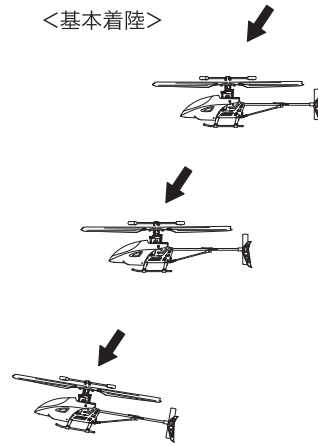
- ▶ 旋回飛行に慣れたら、8の字飛行にチャレンジしてください。
- ▶ 速度が早くなりすぎないように注意。



5 着陸

- 1 スロットルスティックをすこしづつ下げる。
- 2 スロットルスティックを少し上げ、下降スピードを調整。
- 3 速度があるときは、エレベーターアップでホバリングさせるように着陸。

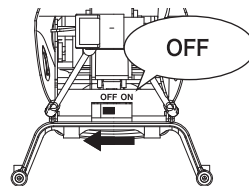
<基本着陸>



- ▶ 飛行中に高度が落ちてきたらバッテリー残量が無くなっていますのでただちに飛行を中止してバッテリーが冷めてから充電してください。ヘリコプターが浮かなくなった状態で飛行を続けようとするリチウムポリマーバッテリーが過放電になり、破損するおそれがあります。
- ▶ ヘリコプターの動きがおかしいときは、飛行を中止して機体に異常が無い点検してください。そのまま飛行を続けると事故のおそれがあります。

飛行が終わったら

- ▶ 機体のスイッチをOFFにし、次に送信機のスイッチをOFFにする。



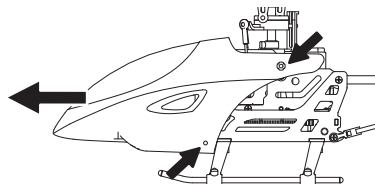
- ▶ 飛行させないときは必ず機体と送信機のスイッチをOFFにしてください。ONのままにすると、機体が暴走したり、リチウムポリマーバッテリーが破損するおそれがあります。



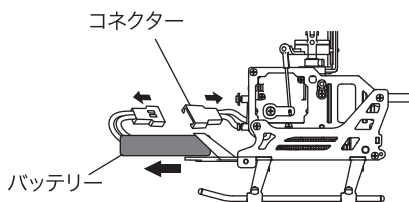
▶ 毎回飛行前に各部を点検し、破損している部品は必ず飛行前に交換してください。破損したパーツは絶対に使用しないでください。事故やケガのおそれがあります。

バッテリーの交換

- 1 左右4カ所の突起からボディを外す。



- 2 コネクターを外して、バッテリーを前に引き出す。



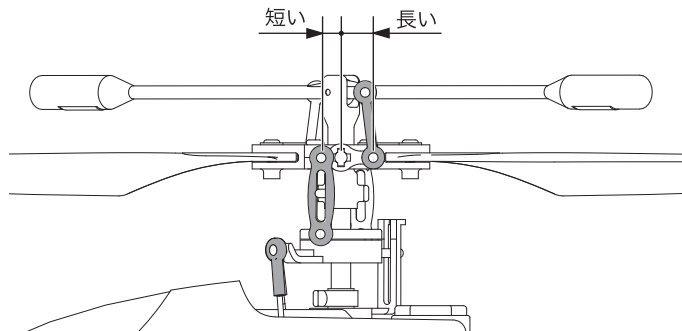
- 3 逆の手順で新しいバッテリーを取付ける。



▶ バッテリーの過放電やスイッチの切り忘れによる事故を防ぐために、飛行させないときは必ずバッテリーのコネクターを外してください。

リンケージの交換

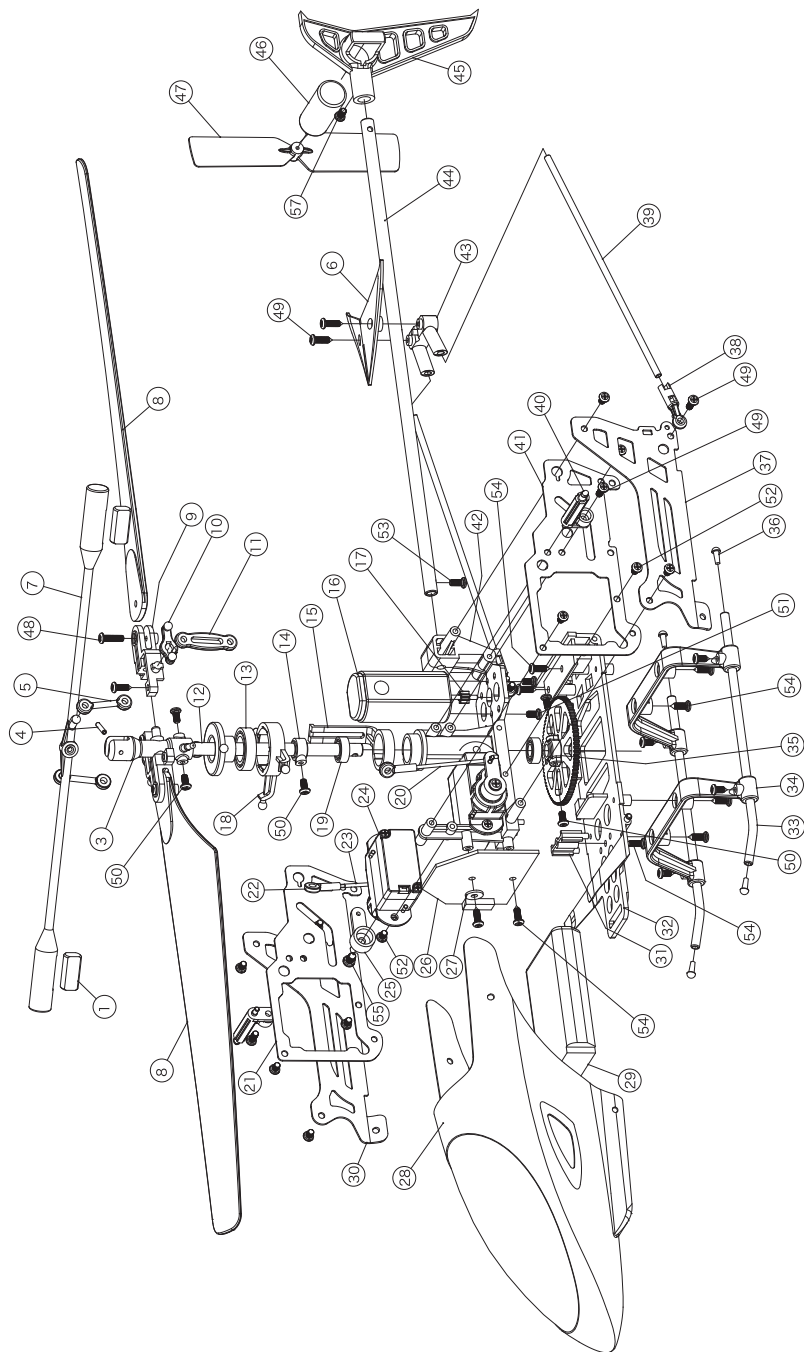
▶ リンケージを取付ける時は、下図を参考に組み立ててください。



症状	原因	対処
動かない	送信機のスイッチがはいっていない。	7ページに従って正しくスイッチを入れる。 ➡
	送信機の乾電池の向きや種類を間違えている。	7ページに従って送信機の電池の向きと種類を確認する。 ➡
	送信機のバッテリー残量が不足している	7ページに従って送信機のバッテリーを新しい物に交換する ➡
	機体のバッテリー残量が不足している	5ページに従って正しく充電する ➡
	送信機と機体の登録が完了していない	7ページに従って正しく登録されているか確認する。 ➡
コントロールがきかない	ジャイロのセンターが正しく調整されていない	機体のスイッチをONにした後、3秒以上機体を水平に保つ ➡
	機体のバッテリー残量が不足している	5ページに従って正しく充電する ➡
	トリムが合っていない	18ページにしたがって正しく調整する。 ➡
コントロールがむずかしい	エキスパートモードになっている	9ページに従って設定をノーマルモードに変更する。 ➡
メインローターの回転が止まらない	スロットルトリムがずれている	12ページに従って正しく調整する。 ➡

この他にも飛行場所や時間帯によって電波の到達距離や精度が変化し操縦できなくなる場合があります。
この様な時には、当社ユーザー相談室までご連絡ください。

分解图



京商スペアパーツ・オプションパーツの購入方法

※これらの購入方法は日本国内に限らせていただきます



- 部品をこわしたり、なくしてしまった場合でもスペアパーツやオプションパーツを 購入し、元どおりに直す事ができます。
- パーツはお店で直接購入していただくか、お店に行けない場合は、インターネットか電話注文で京商から通信販売で購入することができます。
(現金書留及び郵便振込みによる通信販売は平成20年3月31日をもって終了させていただいておりますので予めご了承ください)
- 商品のご購入に際しては商品代金(税込)とは別に発送手数料が必要です。

※お支払い方法により発送手数料が異なりますので下記の注文専用電話にてご確認ください。
※お届け予定日数は夏・冬期休業または交通事情等運送上の理由により、遅れる場合がございますのであらかじめご了承ください。

1.まずはお店でお求めください。

まずは、お近くのお店か、この商品をお買い求めいただいたお店にご来店ください。ご希望のパーツの在庫があれば即購入できます。その際に組立/取扱説明書をお持ちになると購入がスムーズになります。



お店で在庫切れの場合でも京商の『オンラインパーツ直送便』[※]でお店から京商へ申し込みます

お店でご希望のパーツがたまたま品切れだった場合でも、京商の『オンラインパーツ直送便』[※]を利用すればその場で注文できます。『オンラインパーツ直送便』は、ご希望のパーツの品番や数量等を直接お店にご注文してください。在庫確認後代金をお支払いいただければ結構です。お客様の自宅か、お店にお届けします。
※一部取扱っていないお店もございます。



オンラインパーツ直送便取扱店はこのステッカーが自印です。

A: 取扱説明書に必要なパーツの品番と数量を確認する。



B: お店で必要なパーツを注文し代金を支払う。



C: ご注文から約3~4日でお客様の自宅か、お店にお届けします。



2.お店に行けない場合は 次の方法で京商から通信販売で購入できます。

お店に行けない場合は、京商ホームページ内の京商オンラインショップからお申し込みいただくか、電話注文でお申し込みいただくようになります。

インターネットで京商に申し込む

<http://kyoshoshop-online.com>



KYOSHOホームページ内のインデックスから京商オンラインショップをクリックしていただくか、右記QRコードを携帯で読み込んでいただくと直接サイトにアクセスできます。必要事項を入力の上ご利用ください。
オンラインショップ(インターネット)でお申し込みの場合は2種類(各社クレジットカード、代引支払い)からお選びいただけますのでご利用ください。



※発送手数料に関しましては下記の、注文専用電話にお問い合わせください。

京商株式会社

〒243-0034 神奈川県厚木市船子153

●お問い合わせはユーザー相談室まで

電話 046-229-4115 受付時間：月～金曜(祝祭日を除く)13:00～19:00

組立や、操作上で不明な点のお問い合わせ方法

これらのサービスは日本国内に限らせて頂きます



組立てたり、操作してみても上手くいかない点などございましたら、ご購入いただいた販売店または、京商ユーザー相談室へお問い合わせください。
京商ユーザー相談室へお問い合わせの際は、お電話いただくか、下記のお問い合わせ用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXまたは郵便でお送りください。

京商へのお問い合わせ先 → 「京商ユーザー相談室」

京商にお問い合わせの際は、「京商ユーザー相談室」にご連絡ください。
お問い合わせの際は、お手元に商品や組立/取扱説明書をご用意のうえ、組立/取扱説明書のページ数、行程番号、部品番号(キーNo.)を用いるなど、なるべく具体的にお知らせください。

電話でのお問い合わせは：**046-229-4115** 電話でのお問い合わせは、月曜～金曜(祝祭日を除く)13:00～19:00。

FAXでのお問い合わせは：**046-229-1501** FAXでは、24時間お問い合わせの受付をして居ります。回答は、翌営業日以降となる場合があります。営業日:月曜～金曜(祝祭日を除く)

郵便でのお問い合わせは：〒243-0034 神奈川県 厚木市 船子153 京商株式会社 ユーザー相談室宛

----- キリトリ線 -----

お問い合わせ用紙

お問い合わせ用紙は、FAXまたは郵便でお送りください。回答方法は、京商で検討のうえ考慮させて頂きます。
郵送の場合は、お問い合わせ用紙のコピーを保管してください。

品番	No.20150		商品名	ミニインバーター 150 S4 レティセット			
ご購入店	店名				都道府県	ご購入年月日	平成 年 月 日
				(電話			
ご使用プロポ	メーカー名	商品名	ご使用の	モーター			
				エンジン			
ご氏名	フリガナ				R/C歴	約 年	
ご自宅住所	〒 _____		都道府県				
ご自宅の連絡先	電話	()			FAX	()	
平日の昼間に可能な連絡先	電話	()			FAX	()	
月曜～金曜(祝祭日を除く)13:00～19:00で電話連絡可能な時間帯				:	頃	受付No.(京商記入欄)	

お問い合わせご記入欄：組立/取扱説明書のページ数や部品番号(キーNo.)を用いるなど、なるべく具体的にご記入ください。



京商ホームページ
www.kyosho.com

メーカー指定の純正部品を使用して
安全にR/Cを楽しみましょう。

京商株式会社
〒243-0034 神奈川県厚木市船子153
●ユーザー相談室直通電話 046-229-4115
お問い合わせは：月曜～金曜(祝祭日を除く)13：00～19：00
32341306-1 PRINTED IN CHINA